

持続可能な運行に向け、地域公共交通を支援します

1

目的

地域公共交通は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛等の影響を受けて移動需要が大幅に減少するなど、厳しい経営状況に置かれる中、感染拡大防止対策を講じながら、運行サービスを維持してきました。国の緊急事態宣言が解除されたことを受け、高校や大学が再開されるなど移動需要が徐々に回復し、公共交通の利用者は増えてきておりますが、本市では、今後の新型コロナウイルス感染症がもたらす影響や、利用者の回復状況を把握し、国、県とともに必要な支援を行ってまいります。

4月～5月の公共交通利用者の減少 ⇒ 路線バスは6割以上減少 コミュニティバスは 約5割減少

2

支援策

(1) 感染防止対策

市民の皆様が安心して地域公共交通を利用していただけるよう、地域公共交通事業者（地方鉄道、バス、タクシー等）は、車内の抗菌及び抗ウイルス対策や、運転席の仕切りカーテンの設置、車両等の密度を上げないよう配慮した実証運行等、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しており、そうした感染防止対策に対して、支援を行います。【国・県】



車内の抗菌・
抗ウイルス対策



バス運転席
仕切りカーテン

(2) 運行支援策

新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中で、継続した運行が可能となるよう、運行に対する支援を行ってまいります。【国・県・市】



公共交通は、日常生活に欠かすことができない移動手段であることから、公共交通事業者とも十分に連携し、持続可能な都市を目指してまいります。

